

## 事業報告

講座名	出前講座②・③
日時・場所	② 令和6年11月7日(木)13:50~14:35 山口市立平川小学校 ③ 令和6年11月14日(木)13:40~14:25 山口市立大内小学校
参加者数	② 142名(対象者:小学6年生) 平川小学校 ③ 93名(対象者:小学6年生) 大内小学校

### 《概要》

#### 1 出前講座実施にあたり

6年生の社会科(歴史学習)において、教科書記述に沿って学びを進めていく際に、内容や授業時間数の関係から、本県の先人を取り上げて学ぶ機会は少ないと考えられる。

これらを踏まえ、いずれの学校においても明治維新につながる幕末の先駆者とも言える吉田松陰を取り上げることにより、歴史学習の中で先人学習を行い、子どもたちに先人の生き方を学ばせ、「志」や「行動力」を育みたいと考えた。

講座の趣旨は、道徳教育に基づくものであり、教科・領域等を進める過程において歴史事象にふれながら道徳教育の内容項目に迫り、児童の志を育むことを目的とした。これらを踏まえ、両校の教育課程から、社会科での実施とすることとした。

#### 2 事前打ち合わせについて 【8月21日:平川小 10月17日:大内小】

- DVDの確認(吉田松陰 平成25年度) ※DVDの概要資料を説明
- 資料を基に、出前講座の流れについての共通理解
  - ・授業の流れや役割分担、場づくりについて
  - ・小学校学習指導要領との関連(特別な教科道徳の内容項目との関連)
  - ・学校への依頼事項等(会場設営、講座紹介、教員アンケート等)

#### 3 出前講座の実際(内容や講座の進行等は両校共通)

講座の主眼は、「幕末における社会情勢等を振り返らせるとともに、DVD『平成の松下村塾』を活用し、先人の生き方や思いに注目させながら、自らの夢や生き方について考えさせる」である。また、DVDの内容から、求める道徳的価値(内容項目)は、A-(5)の『希望と勇気、克己と強い意志』がふさわしいと考えた。

なお、講座時は、先人学習コーナーに設置している「志」の額を持参するとともに、講座の展開時に「志」の意味についてふれていた。本年度は、意図的に、導入時に「志」の意味を子どもたちに投げかけた後に作者の吉田松陰とつなげ、終末時にその意味を吉田松陰の生き方につなげて考えさせ、学ばせるという流れで計画した。(「志」は、個人の強い思いだけでなく、周囲や社会のために役立つことも押さえた。)

講座の流れの概要は以下のとおりである。

○「志」の意味のなげかけ ⇒ 歴史背景 ⇒ DVDの視聴⇒ 内容の振り返り  
⇒ 視聴の感想の記述等 ⇒ ◎「志」の意味 ⇒ 今後の自身の生き方

DVDの視聴を基にして学びを深める講座であるが、歴史背景が未履修であるとともに、道徳教育の価値(内容項目)につなげる必要があるため、DVDの視聴後にホワイトボードを活用して、児童に内容を問いかけながら整理を行った。児童は、メモをとりながら自分の考えや気持ちをプリントに記しており、授業の主眼に迫った児童も多かったように思える。

児童の学習プリントから、「堂々と行動する」、「思ったことや考えたことを実行する」、「あきらめない」、「自分の意見を堂々と伝える」という感想が見られたが、内容項目のA-(5)の『希望と勇気、克己と強い意志』につながるものであり、講座で目指した価値と考えることができる。「人としてどう生きるか」という生き方に関係のあるDVDの中のことばに注目した児童も見られた。

また、「社会のため」、「人のため」ということばの記述が、両校ともこれまでの講座に比べて全体的に多く見られたように感じる。これは、「志」の意味について、意図的に、講座のはじめに意識させ、終わりには、吉田松陰の生き方と「志」を関連付けて意味を学ばせるという講座の構成にも関係があるように思える。(C-(17)郷土を愛する態度)

体育館での学年全体を対象とした講座であったが、両校の子どもたちの学習態度はよく、落ち着いて熱心にメモをとる姿が見られ、感想には自らの考え等がしっかりと記されていた。